

横川っ子だより



あ ことば
合 言葉は かもしれない

11月20日に、4～6年生を対象に、学校保健委員会を開催しました。
当日は、保健委員の児童が、アンケートやクイズ、映像などを工夫しながら、分かりやすく伝えました。テーマは、「けが予防大作戦！ 合言葉は～かもしれない～」です。
今年度、横川小学校で起きたけがは、4月から10月までで、630件発生しており、1日あたり5～6人がけがをしていることとなります。

保健アンケートの結果を見ると、気になることが2点ありました。

まず、「朝、すっきり起きることができますか？」の質問に対して、高学年は80%以上が「眠い」と答えていました。睡眠不足は、注意力が欠けて周りが見えず、けがをしやすくなります。夜遅くまで、スマートフォンやゲームをやっていると眠れなくなり、朝、気持ちよく起きられなくなります。

そして、「朝ごはんに、何を食べてきますか？」の質問に対して多くの児童が「ごはんだけ、パンだけしか食べない」と答えていました。ごはんやパンはエネルギー源ですが、ごはんだけ、パンだけではエネルギーが長続きせず、集中力も欠けてけがをしやすくなります。タンパク質（肉、魚、卵、乳製品など）を一緒に摂ることで、エネルギーが持続し、集中力も高まります。



けがは、放課の室内で多く発生していることから、廊下を走っていて人とぶつかったり、階段を駆け下りて足を滑らせたりしてけがにつながっていることが考えられます。学校保健委員会では、廊下を歩くことはもちろん、曲がり角から人が飛び出してくるかもしれない、階段を駆け下りると滑って転ぶかもしれないことを意識して生活することの大切さを学びました。

一つの重大事故の背後には29の軽微な事故があり、その背景には300の異常（ヒヤリとしたりハッとしたりする危険な状態）が存在すると言われています（ハイリッヒの法則）。学校では、児童の事故予防教育が必要であると感じています。

予防のポイント！

「～だろう」ではなく、「～かもしれない」行動を心がけよう。
「早寝・早起・朝ごはん」で注意力・集中力を高めよう。



学校の管理下で起きた重大事故

今年度、横川小学校で起きたけがは、4月から10月までで630件発生、そのうち病院に行った大きなけがは29件発生しており、骨折や目のけが、歯のけがなどがありました。

学校の管理下で起きたけがには、「このことは児童のけがにつながるかもしれない」という指導者側の判断力・対応力で防げたものもあります。

横川小学校では、児童の命を守りきるための再発防止策として、以下のことを徹底して参ります。

- ① 保健室は、児童の心の相談やけがの治療など、保健室を必要とする児童の居場所として機能させます。
- ② 課題を抱える児童には、学校教育課・子育て支援課などの関係機関と連携して関わります。
- ③ 毎日、校内施設・設備の安全点検を行い、危険な物は修繕・廃棄をします。
- ④ 教室内は常に整理整頓を心がけ、学習に集中できる環境をつくれます。
- ⑤ あいさつ・返事・履き物そろえを意識的・継続的に指導します。
- ⑥ 児童をよく見て、「おやっ!？」と思ったら声かけをし、全校で情報共有するとともに、保護者にも連絡・相談します。
- ⑦ 首から上のけがは、原則、救急車を要請します。
- ⑧ 学校で負ったけがや病気などは、学校から保護者へ連絡をとり、引き継ぎをしっかりと行います。

年末年始は交通事故に注意

12月は、最も交通事故件数が増える時期です。交通事故をなくすためには、交通ルールやマナー、自転車の安全な乗り方を身につけることが大切です。また、交通ルールやマナーを守っていても、事故に遭うケースがあります。今一度、「自分の命は自分で守る」という意識をもって、事故に遭わない行動ができるように指導していきたいと思えます。

過日、4年生が自転車訓練を行い、交通指導員さんから指導されたことを以下にご紹介します。ご家庭でも自転車の正しい乗り方、交通安全について話し合ってみてください。

安全のポイント!

- ・ブレーキがしっかりかけられない児童が多いです。止まっているときも、ブレーキをかけましょう。
- ・自転車が止まるとき、右足がついてしまう児童が多いです。倒れたとき、車道に倒れる危険性があるので、左足をつけて止まりましょう。
- ・ヘルメットは必ずかぶりましょう。
- ・信号を正しく見て、横断歩道は自転車を引いて渡りましょう。

